

国立大学附属幼稚園

調査対象：全国国立大学附属幼稚園（配布52園 回収41園 回収率78.8%）

調査期間：2014年12月

調査方法：質問紙調査...全国国立附属幼稚園各園に1部ずつ郵送にて配布・回収

調査内容：①回答者属性,②園について,③預かり保育について,
④幼保連携について,⑤幼保一体化について

問1. アンケートの回答者についてお聞きします。

(1)このアンケートを記入している方は次のうちどなたですか。

	人数(人)	割合(%)
園長	2	4.9
副園長	35	85.4
主任	2	4.9
その他	1	2.4
無回答	1	2.4

(2)保育所と幼稚園での経験年数について教えてください。

幼稚園...平均17.1年 保育園...平均2.47年

	幼稚園(人)	保育園(人)
0年	3	14
1~9年	13	1
10~19年	3	1
20~29年	10	1
30~39年	10	0
40年以上	0	0
無回答	1	24

問2. 貴園の概要についてお聞きします。

(1)園が設置されている地域を教えてください。(省略)

(2)園の設置について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
大学附属幼稚園	40	97.6
その他	1	2.4

(3)創立年数を教えてください。

平均79.9年

(4)現在の園児数について教えてください。

年齢	平均人数(人)	平均クラス数(クラス)
3歳児	25.1	1.2
4歳児	41.7	1.7
5歳児	41.0	1.7

問3. 貴園の預かり保育の現状についてお聞きします。

(1)貴園では預かり保育を実施していますか。

	園数(園)	割合(%)
実施している	5	12.2
実施していない	35	85.4
無回答	1	2.4

(2)どのような形態での預かり保育を実施していますか。

※預かり保育を実施している園（5園）のみ

i)預かり保育可能な対象の範囲を教えてください。

	園数(園)	割合(%)
在園児のみ	5	100.0
在園児以外の子どもも対象	0	0.0

ii)預かり保育の実施日について教えてください。（複数回答可）

	園数(園)	割合(%)
月	1	20.0
火	3	60.0
水	2	40.0
木	2	40.0
金	1	20.0
土	0	0.0
日	0	0.0
祝日	0	0.0
春・夏・冬の長期休業期間	0	0.0
その他	2	40.0

iii)預かり保育の平均利用人数と実施時間について教えてください。

	実施時間の平均	平均利用人数の平均(人)
夕方	13:38~16:57	37.5

iv)預かり保育の実施場所について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
保育所の活動スペースと同じ場所	5	100.0
その他	0	0.0

v)預かり保育の担当者について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
教育時間を担当する園の職員	1	20.0
預かり保育担当の職員	3	60.0
その他	1	20.0

vi)預かり保育の保育内容等について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
担当者がその日毎に保育内容を決める	3	60.0
担当者とは担任は子どもについて情報交換をしている	3	60.0
預かり保育独自のカリキュラムがある	2	40.0
園のカリキュラムと連続している	1	20.0
園の学年ごとに保育を行っている	0	0.0
園の学年に関係なく異年齢で保育を行っている	4	80.0
その他	1	20.0

(3)預かり保育について、今後の方向性として当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
取り組む	6	14.6
取り組まない	23	56.1
わからない	9	22.0
その他	3	7.3

(4) (3)の理由として最も当てはまるものから順に番号を記入してください。

第1理由

(園)

	取り組む	取り組まない	分からない	全体
子育て支援が充実する	3	0	0	3
地域社会の要請が強い	1	0	0	1
行政の方針	0	1	0	1
保育者の負担が大きい	0	3	2	5

経費の面で難しい	0	4	1	5
今のままで十分	0	3	2	5
カリキュラムの編成が難しい	0	2	0	2
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
保護者からの要請がある	2	0	0	2
子どもの負担が大きい	0	1	0	1
その他	0	6	2	8

第2理由 (園)

	取り組む	取り組まない	分からない	全体
子育て支援が充実する	1	0	0	1
地域社会の要請が強い	1	0	0	1
保育者の負担が大きい	0	4	1	5
経費の面で難しい	0	2	1	3
今のままで十分	0	3	1	4
カリキュラムの編成が難しい	0	1	0	1
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
保護者からの要請がある	3	0	0	3
子どもの負担が大きい	0	2	2	4
近隣に利用できる場所がない	0	0	1	1
その他	0	0	1	1

第3理由 (園)

	取り組む	取り組まない	分からない	全体
子育て支援が充実する	1	0	0	1
地域社会の要請が強い	1	0	0	1
保育者の負担が大きい	0	3	1	4
経費の面で難しい	0	1	1	2
今のままで十分	1	1	0	2
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
子どもの負担が大きい	0	1	0	1
近隣に利用できる場所がない	0	0	1	1
その他	1	1	1	3

問4. 貴園の幼保連携の現状についてお聞きします。

(1) 保育園との連携はありますか。

	園数(園)	割合(%)
連携がある	4	9.8
連携がない	37	90.2

(2) (1)の理由をお書きください。(自由記述)

連携がある
・ 幼保互いの教育・保育の理解・改善・充実のため ・ 大学内にある保育施設と連携をしている。近接しており、園庭の一部を共有している環境にあるから。
連携がない

- ・歩いて行ける範囲内に保育所がなく、またバス等公共機関を利用しての範囲となると子供の安全面の配慮、保育園の交流先の選定が難しい。
- ・本園としては附属4校園との連携を重視し、研究推進、教育活動の実践に向かっている。
- ・職員間の交流
- ・特に理由はない。近くに保育所がない。
- ・幼稚園の横に民営の大学職員用の保育所があるが3歳以前の子供たちが多く、また行事に誘っても連れてくるための職員数が足りないと断られる。
- ・幼児教育センター的役割を果たすため県内県外広く呼び掛けている近くに交流できる保育所がないため
- ・何度か研修における連携を試みたが時間の調整からうまくいかなかった。
- ・大学の附属園としての役割が大きく、保育所の連携まで手が回らないまま現在までできてしまっています。
- ・近隣にないため
- ・このアンケートに出会うまで幼保の連携について考えたことはなかった。本園の公開研には多くの保育士の参加がある。
- ・特別必要を感じていない。
- ・必要性がないため
- ・地域の保幼章連絡会で情報交換をする機会はあるが、具体的な連携は行っていない。
- ・研究会の参加、連絡協議会等で、保育所の先生方と話し合うことはあります。日常的な連携とは言いかねるのが現状です。
- ・近隣に連携できるような保育所・園がない
- ・県・市の依頼で、保育士さんへの研修等の指導を行っているが、連携は行っていない。本園主催公開研究会への参加は毎年200名ほどの参加人数を得ている。
- ・近隣の保育園と離れている。
- ・連携する余裕がない
- ・特に連携の必要性が今のところない。
- ・実質的な連携はないが、研修会等を主催し、保育所職員の方々との情報交流は行っている。
- ・子どもの力で行き来できる距離に保育園がありません。

(3)連携をしている園にお聞きします。※連携をしている園（4園）のみ

i)連携をしている園は何園ですか。

	園数(園)	割合(%)
1園	3	75.0
2園	0	0.0
3園	0	0.0
4園以上	1	25.0

ii)連携をしている園との距離について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
歩いて行ける範囲	1	25.0
隣接している	1	25.0
バスや交通機関を利用	1	25.0
その他	1	25.0

iii)連携の頻度について当てはまるものに○または数字をご記入ください。

	園数(園)	割合(%)
毎日	0	0.0
月1回	0	0.0
年1回	0	0.0
年2,3回	2	50.0
年4,5回	1	25.0
年6回以上	0	0.0

iv)連携の対象範囲について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
園全体	2	50.0
学年単位	1	25.0
クラス単位	1	25.0

(4)連携についてお聞きします。

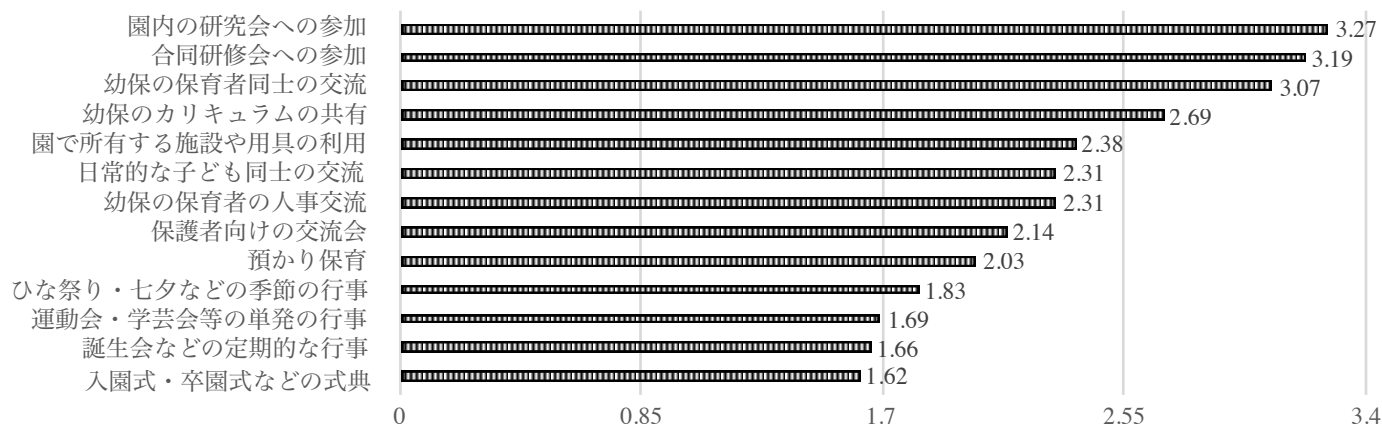
i)連携をしているものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
日常的な子ども同士の交流	1	25.0
園内研修への参加	2	50.0
合同研修会への参加	1	25.0
園で所有する施設や用具の利用	1	25.0

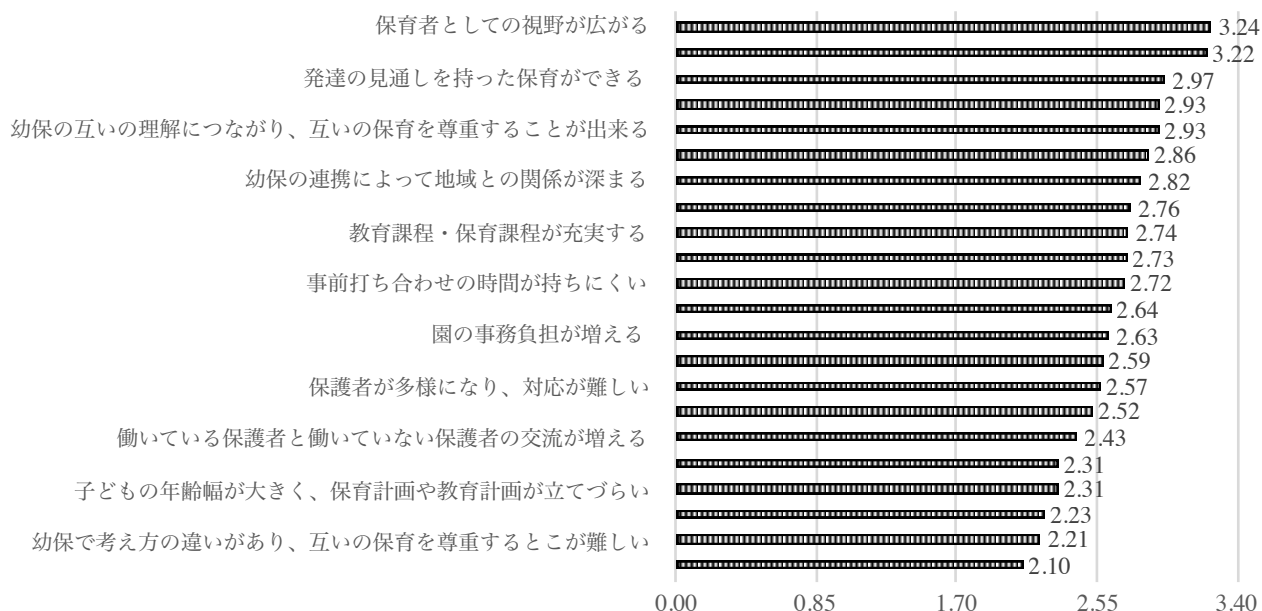
ii)連携をしている場合、両方の園が計画の段階から共同で行っている場合は「両」に、一方の園が中心に計画を立て、もう一方がそれに参加する形で行っている場合は、中心に計画を立てている方の園に○をつけてください。...省略

iii)連携をしている・していないにかかわらず、それぞれの項目について必要性を感じますか。

「1：全く必要性を感じない」「2：必要性を感じない」「3：必要性を感じる」「4：とても必要性を感じる」のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。



(5)幼稚園・保育所との連携について貴園が感じていることについて、「1：全くそう思わない」「2：そう思わない」「3：そう思う」「4：とてもそう思う」のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。



問5. 今後の幼保一体化について貴園のお考えをお聞きます。

(1) 今後、幼保一体化をしていきたいと思いませんか

	園数(園)	割合(%)
一体化したい	0	0.0
既に検討している	0	0.0
検討していきたい	4	9.8
したくない	20	48.8

わからない	15	36.6
無回答	2	4.9

(2) (1) の理由として最も当てはまるものから順に選んで記号を記入してください。

第1理由

(園)

	検討していきたい	したくない	分からない	全体
子育て支援が充実する	2	0	0	2
行政(大学)の方針	0	1	4	5
保育者の負担が大きい	0	2	0	2
経費の面で難しい	0	0	2	2
今のままで十分	0	7	2	9
カリキュラムの編成が難しい	0	2	0	2
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
保育・教育の充実	2	3	1	6
その他	0	3	5	8

第2理由

(園)

	検討していきたい	したくない	分からない	全体
子育て支援が充実する	1	0	0	1
地域社会の要請が強い	1	0	0	1
保育者の負担が大きい	0	2	1	3
経費の面で難しい	1	2	2	5
今のままで十分	0	3	2	5
カリキュラムの編成が難しい	0	0	1	1
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
保育・教育の充実	0	2	0	2
その他	0	4	1	5

第3理由

(園)

	検討していきたい	したくない	分からない	全体
子育て支援が充実する	1	0	0	1
保育者の負担が大きい	0	2	0	2

経費の面で難しい	1	2	1	4
今のままで十分	0	1	1	2
カリキュラムの編成が難しい	0	3	1	4
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
低年齢児とのふれ合いができる	1	0	0	1
保育・教育の充実	0	0	2	2
子どもの負担が大きい	0	1	1	2
その他	0	1	1	2

問6. 幼保の連携や一体化に関して、日頃の保育からお考えになっていることをご自由に

- ・制度上の課題、職員の勤務や待遇、資格の問題、保育の質的不安などが山積みした状態と思える。教委と福祉課などの連携や現場の声を吸い上げなど実際の動きの中でクリアにしてほしいと思う。附属幼稚園にはその任務があり、附小・附中・附特等との連携を推進している。そのような実情についても理解いただきたい。
- ・少子高齢化が進む現状では女性が活発に世の中に出て働くことが必須であると思う。そのためには安心して子供を預ける施設が必要であり、社会で子育てをし女性を重視すべきと考える。現在は働く親側からの要望のほうが大きく、子供自身の方から長時間保育を行うのはどうなのかなどの考えがなされていない。子供の側から改革を考えるなら小学生までは早退して送迎ができるようにするなどの形態を変える、それを認める社会づくりをすることも必要ではないでしょうか。
- ・この取り組みが幼児教育に関わる教諭および保育士の資質向上につながり、子供へ返っていくことを願っています。
- ・近くに交流できる保育所がないため連携もしてないが、交流したり連携したりするイメージがあまりない。そのため現段階ではその必要性も特に感じていない。
- ・幼稚園の教員にとって入園前の子供たちの育ちを知ることは個々の育ちを把握し、援助していくために必要なことだと考えている。地域的にも保育所が多いので職員間の研修を合同で行うことや互いの保育を参観しあうことないきたいと思う。
- ・本園では附属幼稚園としての1つのミッション（研究の全国発信・質の高い保育の実践・教育実習の充実・地域貢献）がありこうしたことを行うためには現状での園運営が最適である。ただし園児確保のため預かり保育の試行はH25年度より実施しており、実践への課題を精査している。
- ・幼保一体化したいが、保育園の選定が難しい。
- ・教育について、幼稚園が長い歴史の中で築いてきたものを一体化した場合にも失うことなく受け継ぎ、幼児期の教育が安易な方向に流れないようにしたいものです。
- ・同じ幼児期の教育を担っている幼稚園と保育園が同じ考え方、同じ教育内容で幼児を教育していくことが必要であると考えますが、実際にはそうならないことに問題を感じている。地域のリーダー園として本園の役割はこの点の解消において大きいと思っている。
- ・本園では保育研究に力を入れているため、研究の時間を確保するのが最優先になっている。そのために幼保の一体化は難しいと考えている。
- ・カリキュラムもそうだが、保護者のニーズ、保育者が大切にしていることなど価値観を一体化していくのは難しいと考える。子供にとっても生活の流れが違おうと大変さを感じると思う。しかしそれぞれの良さを生かした保育を行うことやお互いをよく知り共通理解していくことを今後も行っていきたいと考えている。
- ・親が仕事をもっている、持っていないということで子供の就園施設を決めるのではなく希望するところに入園できる状況を整備することは大切なことだと思う。ただ幼児教育についての考え方には幼保・公私によってかなり違いがあるので子供たちのために考え方・経費などもっと話し合いを詰めていかなくてはと思っている。
- ・現段階では預かり保育・幼保連携・一体化について考えていこうという方向ではありませんのでアンケートにお答えできないところが多くありました。アンケートとしてはほとんど回答できておらず、参考にならなくてすみません。
- ・教員同士の教育観・保育観が違いすぎると負担感ばかりが強くなるようです。

- ・今まで培ってきた幼児教育をしっかりと推し進める幼稚園の形態をとりながらも、母親の就労や子育て支援にも対応できるよう預かり保育を充実させていくことができれば良いと思う。幼稚園と保育園が共立するという連携の在り方がうまくいけばベストなのではないかと考える。いろいろと課題は多いと思いますが...
- ・今後必要になってくることは重々理解しておりますが、まずは保育者同士が連携していくことを、その中身（幼児期の教育）についてしっかりと話し合い、互いの保育実践を深めていくことが大切だと思っています。
- ・幼保で連携をとり、子供の育ちについて考えの交流を行っていくことは、良い面もあると思う。一方で、交流を行うことが現在の附属園として難しい面であるが、公立保育園・所との関わり合いが、これまで積み重ねてきておらず、（幼稚園との交流は常にあり）体制づくりについてどう進むと良いのか、と考えさせられる。
- ・以前勤めていた公立幼稚園で、同区内の保育園の先生が人事交流で幼稚園で数年研修をしていた。ハードの面ばかりいったい書いてるが、まず互いの教育・保育内容を理解するところからはじめないと難しいのでは、とおもった。私自身、保育園の先生と一緒に保育したことで多くのことを学んだ。互いにとってそうであったと思う。
- ・幼保の保育内容が一体化していけばいいと思います。反面それぞれ役割があるように思いますので、形だけの一体化は負担感が増えるだけのように感じています。
- ・幼保の連携について、ある程度の理解はできるものの、現実的には、附属園として果たす役割も大きいものがあります。
- ・幼保の連携より、幼保と小学校との連携が急務であると考えられる。
- ・幼保一体化になった場合、カリキュラムをどう編成していくかが課題になると考えています。お互いの良さをどう引き出して組んでいくかがポイントになるかなと思います。幼保一体化になった場合、子ども一人ひとりの保育時間の違いに教職員がどう対応し、保育の充実を目指すかが課題になると考えています。それに伴い、教職員の勤務形態等も考えていかななくてはならないと思います。
- ・お疲れ様です。幼保のあり方について、取り組みやすい枠組みができていくとありがたいと思います。
- ・園が置かれている人的・物理的事情により、幼保連携は難しいと思われます。園の使命を全うするだけで精一杯です。(それだけでなく、過剰な労働に対して労働管理が厳しくなっています。)子どもの力で気楽に行き来できる距離に保育園がありません。直接触れ合うことに意義があることですので、この距離感をうめる方法がみつかりません。